

スマイル東町

世帯数 1028世帯

人口 2530名

男性 1236名

女性 1294名

親子もちつき体験会

1月15日(日)もちつき体験会を開催しました。3年ぶりに子ども会中心にもちつき・カルタ大会を開くべく協議していましたが、折からのインフルエンザの流行とコロナ禍である事を考えて、かたちを変えて有料のファミリー単位のもちつき体験会を計画しました。子ども会を通じて募集したところ5組の応募があり(当日参加4組)開催することを決定しました。



当日は自治会本部の試しづきの後、4組の親子に時間を分けて集まっていただき、もちつき、かえしの体験の後、自分たちで自由に餅を丸めて自治会館で食べてもらったり、あまった分はめいめい持ち帰っていただきました。中には1キロの餅の大半を平らげたたくましい食欲の家族も。もちつきされた家族はみんなよい体験に大満足。「また、こんな機会を作って欲しい」という声が聞かれました。



初めての開催でしたが、和気あいあいと時間が過ぎ、やって良かったと実感しました。反省会の意見として、もちつきは12月がより実感がわくのではとの声もあり今年度は開催日も考慮してまた開きたいと思います。

第5回文化祭開く

2月19日(日)文化祭を開きました。日頃の皆さんの趣味の成果を発表する機会になればと開催して5年目です。今年は例年より作品の集まりが少なかったですがそれでも30点を超える作品が集まりました。芸のないものは珍コレクションで参加したり、逆に「エスプレー画」のように目を引く作品もありました。仁賀さんの「生け花」は毎年会場を華やかにしていただいています。今年も一足早い春を演出していただきました。



家庭的保育園「ふゅーちゃー」「すまいるーむ」「ぴっころ」の園児たちの楽しい作品も会場をなごませてくれています。自分の作品の前でパチリ記念撮影。毎年の風景です。

せっかくの作品、1日だけではもったいない気もします。常設に近いような会場があったらいいなという声もありました。今年度も開く予定です。ご応募お待ちしております。

エコパーク見学会

2月16日(木)の午前中、「もりやまエコパーク環境センター」を見学に行きました。見学希望者と本部役員とで市のバスを借りて吉身会館から出発しました。

2021年秋に完成した近代的なごみ処理施設です。係員の説明を受けながら90分かけて館内を見学させていただきました。

規模としては小規模ですが、熱エネルギーの回収率に優れ、廃棄物を焼却した際の排熱を利用する「サーマルリサイクル」に適した設備だそうです。排ガスも国の基準を上回るさらに高度な環境保全対策が施されています。



驚いたのはラインの入り口は人海戦術だったことです。ペットボトルのラインでは、ラベルやキャップを手で外してラインに戻す。破碎ゴミの受け入れヤードでの選別や、破碎された鉄の中の異物をとる作業も人の目と手でした。ゴミの分別収集がいかにも大変わかりました。30分ほどの自由時間を設け、交流拠点施設を見学したり、守山市の航空写真を楽しんだりして戻ってきました。

ごみ出しルールの徹底

破碎ゴミには出せない電池内蔵小型家電

見学でも見てきた集積車の火災の原因の一つは破碎ゴミに出せないリチウム電池を内蔵する小型家電です。電動歯ブラシやモバイルバッテリー、携帯ゲーム機など電池が外せない家電は、市役所や吉身会館などに設置された「小型家電回収ボックス」に捨ててください。平和堂、丸善にも設置されています。

自主防災組織について

吉身東町の自衛消防隊は、約20年前に有志の方々と結成され、消火栓ボックスの点検や放水訓練、年末夜警など地域防災の中心的役割を果たしてきました。現在、17名の隊員が活動され、任期は2年となっていますが、多くの隊員は長年継続して活動をしていただいています。今後、大きな災害が発生したときなど、東町住民の安心・安全につながる要となるものですが、新たな隊員の加入や地域での啓発活動のあり方などが課題となっています。



また、女性消防隊も自衛消防隊と同様に地域の防災活動の要となるものです。現在は、各隣組から毎年交代で隊員を出していただいています。ところが、近年、高齢化が進んだり、生活スタイルが変化したりする中で、活動のやりにくさ等が大きな課題となっています。

こうした自治会としての防災組織や活動の必要性は理解できますが、実際にどのように進めていくかが難しいところです。今後、しっかりと話し合っていくことが肝心です。

第2回人権学習会

2月26日(日)今年度2回目の人権学習会を開きました。講師に市の人権教育に携わる講師団から奥村信夫氏を招き、「郷土守山の歴史を振り返り、人権尊重の立場を考える」をテーマに進めました。今回もまちづくり推進員と本部役員、希望者の極少数の開催とさせていただきました。



守山市の歴史の中でも吉身地区の歴史からお話が進みます。吉身の名前の由来から、中山道守山宿の加宿としての吉身地区、慈眼寺の日本遺産登録の話から守山空襲の話に、吉身共同墓地の六地藏に残る弾丸の痕跡、戦争による侵略は最大の人権侵略であると言われ、思わずウクライナを思い浮かべました。

自分と立場の違う人の考えに共感する「エンパシー」という考え方が、その人の「ふつう」に寄り添え、「ゆるやかな人間関係」を築き、お互いが「ゆるやかに認め合う」ことになる事が大切と教えられました。

自分と立場の違う人の考えに共感する「エンパシー」という考え方が、その人の「ふつう」に寄り添え、「ゆるやかな人間関係」を築き、お互いが「ゆるやかに認め合う」ことになる事が大切と教えられました。

評議員会開催と定例化への動き

今後の東町自治会運営に大きく影響する課題がいくつかあります。こうした課題については、総会で決定していく必要があります。ところが、その前には、多くの自治会員の方々の考えやご意見を出しあい、議論する必要があります。そのことを自治会員代表で行っていただくのが評議員さんの役割となります。

これまで評議員さんには、こうした「大きな課題」に対する話し合い活動はあまり行われてきていませんでした。そのため、3月5日(日)には、遅まきながらも令和4年度第1回評議員会を開催し、今後、東町で大きな課題と思われる3つの課題(自衛消防隊・女性消防隊組織、隣組の編制、自治会館の維持管理等)についての話し合いのスタートを切りました。評議員の方々には、約1時間半に渡って熱心なご議論をいただきました。次年度も継続して協議を行います。

次年度活動計画案

例年とは日程など変更する予定の活動計画案です。

* 防災訓練

今年度は2回の訓練となります。第1回目は5月14日(日)、防災組織の役割確認を隣組組長さん等の対象者のみで行います。第2回目は8月6日(日)、これまで秋に実施していたような住民全体の訓練となります。

* 夏まつり

アフターコロナ対応や猛暑時期を避けての日程など、新たな夏まつりを計画しています。名称も新たに「納涼祭」とし、8月26日(土)夕刻～馬路石邊神社周辺で実施の予定です。

* 町内一斉清掃

夏は7月9日(日)7時半～、冬は11月26日(日)8時～で計画をしています。これまで予備日を設けていませんでしたが、いずれも翌週の日曜日同時刻に予備日を設定しています。

* 文化祭

これまで2月に実施してきましたが、文化の日に近い時期の実施に変更します。11月4日(土)および11月5日(日)の2日間とします。

* 親睦旅行

これまでは11月3日<祝日>の実施でしたが、文化祭との兼ね合いで、11月12日(日)に変更をしています。

* 親子もちつき体験会

令和4年度に試行的に実施したのですが、比較的に好評でしたので、日程を調整し、継続して実施することにしました。12月17日(日)9時～予定です。<対象は、基本的に子ども会会員の希望する親子となります>